

令和2年度 京築地区中学校軟式野球大会要項

- 1 大会名 第58回 京築地区中学校軟式野球大会
- 2 主催 京築地区中学校体育連盟
京築地区各市町(学校組合)教育委員会
- 3 期日 令和2年8月8日(土)9日(日)
※両日とも雨天等により大会が開催できない場合、10日を予備日とする。
・試合開始 9:00～ ※雨天時の場合…専門部で検討、当日6:30に出場校に連絡
※雨天等による順延の場合、下記組合せを1日で行う。
- 4 会場 1日目：中山グラウンド 犀川中学校 仲津中学校 築城中学校
2日目：中山グラウンド 犀川中学校 仲津中学校 築城中学校
- 5 参加制限 京築管内中学校 オープン参加
- 6 競技方法 トーナメント方式
- 7 競技規則
- (1) 規則 本年度公認野球規則及び本大会取り決め事項、福岡県中学校体育連盟軟式野球専門部指導者必携に準ずる。(投手の投球イニング制限の規定は除く。)
- (2) 使用球 公認球M号
- (3) 引率・監督 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。但し、教育職員(部活動指導員を含む)以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。
- (4) 審判 地区中体連軟式野球専門部及び全日本軟式野球連盟
- (5) チーム編成 選手18名、引率教師、監督、コーチ 計21名
- (6) 申し合わせ事項
- ① 試合回数は7回(規定時間90分間)とし、90分を越えそうな場合は、新しいイニングには入らない。また、準決勝までに5回以降7点差のある場合は、コールドゲームとする。
 - ② 同点の場合は、8回から9回を判定戦とする。判定戦は、継続打順で前回の最終打者を1塁走者として、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。9回終了までに勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名による抽選によって勝敗を決定する。尚、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。
 - ③ 抗議権を有するものは、チームの監督、主将及び当該選手とする。
 - ④ ランナーズコーチは選手に限る。
 - ⑤ ノックは7分間とする。ノッカーはユニホームを着用すること。
 - ⑥ 全選手に原則として守備順に背番号をつけ、補欠選手は10～18の背番号をつける。監督は30番の背番号をつける。
 - ⑦ ベンチは試合組み合わせの左を1塁側、右を3塁側とする。
 - ⑧ 捕手は必ず、マスク・レガース・プロテクター・ヘルメット・ファウルカップを着用すること。シートノック時、投球練習時も防具の着用を義務つける。(控え捕手も含む)
 - ⑨ 打者・走者及びランナーコーチはヘルメットを着用すること。
 - ⑩ バットは、公認(JSBB)されたものを使用すること。

11 組み合わせ 抽選等にて各パートを決定する

Aパート決勝					Bパート決勝				Cパート決勝				Dパート決勝							
8/9 9:00					8/9 9:00				8/9 9:00				8/9 9:00							
第1試合		第2試合			第1試合		第2試合		第1試合		第2試合		第1試合		第2試合					
8/8		8/8			8/8		8/8		8/8		8/8		8/8		8/8					
9:00		12:30			9:00		12:30		9:00		12:30		9:00		12:30					
1	2	3	4		5	6	7	8		9	10	11	12		13	14	15	16		
豊津中	勝山中	吉富中	行橋中	育徳館中	八屋中	苺田中	長峡中	上毛中		新津中	泉中	千束中	仲津中		今元中	椎田中	築城中	角田中	合岩中	中京中
会場：中山グラウンド					会場：犀川中学校				会場：仲津中学校				会場：築城中学校							
会場責任者：梅林(行橋)					会場責任者：田口(苺田)				会場責任者：十代(仲津)				会場責任者：上田(築城)							
専門部：三浦(育徳館)					専門部：一木(八屋)				専門部：田中(泉)				専門部：福井(中京)							

12 感染対策

令和2年度京築地区中学校軟式野球大会感染防止ガイドラインに則り感染対策を講じる。(日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び、全日本軟式野球連盟の「J S B B感染予防対策ガイドライン」に準ずる)

また、各会場の選手、役員等の待機場所を以下の図のように設置する。

中山グラウンド



みやこ町立犀川中学校



行橋市立仲津中学校



築上町立築城中学校



13 その他

- (1) 開閉開式は行わず、無観客試合にて本大会を実施する(熱中症対策及び感染防止対策に係る各学校の保護者は、観客とはみなさない)。尚、試合開始前に監督者会議を行い、優勝旗返還、大会趣旨等説明及び諸注意(健康観察カードの提出、感染防止対策等の確認)を行う。
- (2) 前試合終了後メンバー表の交換を行う。そのため次の試合に参加するチームは10:20までには、会場に集合すること。
- (3) 試合については、天候・その他の諸事情により、試合開始時間を変更する事がある。
- (4) AEDは本部に設置する。
- (5) Jアラート警報時は、試合を一時中断し、屋内にて安全を確認する。警報が解除され次第、試合を再開する。
- (6) 熱中症対策及び感染防止対策を講じた大会の流れは以下の通りとする。

大会1日目第一試合 大会1日目第二試合 大会二日目各パート決勝戦

開場時間	7:30	集合時間	11:00	開場時間	7:30
受付	7:30~8:00	受付	11:00~11:30	受付	7:30~8:00
消毒等	7:30~8:00	消毒等	11:00~11:30	消毒等	7:30~8:00
監督者会議	8:00	監督者会議	11:30	監督者会議	8:00
メンバー表交換	8:20	メンバー表交換	11:50	メンバー表交換	8:20
マナーチェック	8:30	マナーチェック	12:00	マナーチェック	8:30
シートノック	8:30	シートノック	12:00	シートノック	8:30
試合開始	9:00	試合開始	12:30	試合開始	9:00

①試合準備の際、受付、会場準備、消毒等を保護者をお願いする。
②1日目、2日目の日程終了時の消毒は、専門部で行う。

令和2年度京築地区中学校(軟式野球)大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後1ヶ月間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合(発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること(障がい者の介助を行う場合を除く)
 - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理(適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること)
 - 保護者の参加人数については、原則3年生の人数(各家庭1名)とし、各校で準備した「〇〇中保護者」と記載した名札を身につけた者に限ること。ただし、3年生の保護者が少数であるなど、緊急時の対応等に不安がある場合は学校長の判断で必要最低限の1、2年生保護者の入場を認める。

- 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
- 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
- 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること

大会会場

- 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること